

## 第2回/2007年 次世代ポリオレフィン総合研究会

8/9	講演者	所属	題目
13:00-13:10	寺野 稔	北陸先端大学院大	挨拶
13:10-13:35	小坂田 耕太郎	東工大	後期遷移金属錯体触媒によるオレフィン重合と共重合 —プラスチックをめざして—
13:35-14:00	野村 琴広	奈良先端大学院大	新規ポリマーの創製を指向した高性能ハーフチタノセン 錯体触媒の設計・創製
14:00-14:25	谷池 俊明	北陸先端大学院大	MgCl <sub>2</sub> 担持型Ziegler-Natta触媒におけるTi種の存在状態に 関する実験的・計算科学的検討
14:25-14:50	物井 尚志	日本ポリエチレン	ポリエチレン製造用クロム触媒の進展
14:50-15:15	郷 茂夫	プリディクション郷事務所	ポリオレフィンプロセスの比較視点について
15:25-15:50	永田 晃也	九州大学	日本の化学産業 —企業活動基本統計調査による現状分析
15:50-16:15	篠崎 香織	東京富士大学	石油化学産業の研究開発拠点 —その立地特性がイノベーションに及ぼす影響に関する分析
16:15-16:40	鶴岡 洋幸	北陸先端大学院大	強いコンビナート文化の構築(Ⅱ)
16:40-17:05	小柳津 英知	富山大学	石油化学産業の景気変動の特徴とポリオレフィン業界再編の方向性
17:30-	懇親会		

8/10	講演者	所属	題目
9:00-9:25	塩野 毅	広島大	架橋フルオレニルアミド型ジメチルチタン錯体による オレフィンの重合と配位子の置換基効果
9:25-9:50	林 繁和	林事務所	高温高圧エチレン/ $\alpha$ -オレフィン共重合反応ダイナミクスの研究
9:50-10:15	宮寺 智之	プライムポリマー	攪拌型ポリオレフィン気相重合反応器内の反応・流動解析
10:15-10:40	堀田 篤	慶応大学	立体規則性を有するポリプロピレン共重合体の構造と力学物性
10:45-11:10	河村 幸伸	金沢大学	結晶性ポリオレフィン材料の降伏領域における高次構造変化
11:10-11:35	杉浦 裕記	日本製鋼所	大型造粒装置の現状と将来: 世界のポリオレフィン市場動向に対応して
11:35-12:00	服部 高明	日本ポリエチレン	長鎖分岐ポリエチレンの混練と物性
	(休憩)		
13:00-13:25	松尾 祥宜	王子製紙	感熱用ベースフィルムの配向に伴う熱拡散率の変化
13:25-13:50	中谷 久之	北見工業大学	ポリプロピレンの熱酸化劣化における末端不飽和鎖存在の影響
13:50-14:15	根岸 由典	ADEKA	ポリオレフィンの光安定化の新展開
14:15-14:40	豊田 昭徳	東京農工大	環状オレフィン利用ポリマーの合成と展開
14:45-15:10	斎藤 純治	三井化学	ポリオレフィンハイブリッド —スペシャルティへの展開—
15:10-15:35	臼杵 有光	豊田中央研究所	ポリオレフィン系クレイナノコンポジットの開発
15:35-16:00	三谷 祥子	特許庁	ポリオレフィン関連特許の出願傾向